

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	鉄筋コンクリート構造II	
科目基礎情報							
科目番号		0097		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築学分野		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		新しい鉄筋コンクリート構造（森北出版）：嶋津孝之、福原安洋、佐藤立美、太田和彦参考書：鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）、鉄筋コンクリート構造（共立出版）、RC規準による鉄筋コンクリートの構造設計（鹿島出版会）					
担当教員		鈴木 邦康					
到達目標							
1. 梁と柱のせん断力に対する設計ができる。 2. 柱梁接合部の設計ができる。 3. 床スラブの設計ができる。 4. 耐震壁の設計ができる。 5. 基礎の設計ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
梁と柱に作用するせん断力に対する設計ができる		補強筋の役割や算定方法を理解し、適切に設計できる		補強筋の算定方法に基づいて計算することができる		補強筋の算定ができない	
柱梁接合部の設計ができる		柱梁接合部に作用する力を理解し、適切に設計できる		柱梁接合部の断面算定ができる		柱梁接合部の断面算定ができない	
床スラブの設計ができる		床スラブの構造や断面算定を理解し、適切に設計ができる		床スラブの規程を理解し、断面算定ができる		床スラブの断面算定ができない	
耐震壁の設計ができる		耐震壁の構造や断面算定を理解し、適切に設計ができる		耐震壁の規程を理解し、断面算定ができる		耐震壁の断面算定ができない	
基礎の設計ができる		基礎の構造や断面算定を理解し、適切に設計ができる		基礎の規程を理解し、断面算定ができる		基礎の断面算定ができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D							
教育方法等							
概要		梁と柱に作用するせん断力に対して有効に働く補強筋の役割や規程、算定方法を習得する。さらに、建物を構成する要素として床スラブや耐震壁、基礎を取り上げ、作用する力を理解し、それに対する断面算定手法や規程を学ぶ。					
授業の進め方・方法		講義を主体とするが、演習を取り入れながら理解を深める。 前関連科目：鉄筋コンクリート構造Ⅰ 後関連科目：RC構造設計演習					
注意点		建築士資格試験に欠くことのできない科目であり。実務においても重要な構造であることから、しっかりと習得すること。 電卓を持参すること。 問題は自分で解くこと。 成績評価は以下の通りである。 合否判定：2回の定期試験(前期中間50%+前期末50%)の平均が60点以上を合格とする。 再試験：不合格の場合には再試験を実施し、60点以上を合格とする。最終評価は60点とする。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	せん断に対する設計（1）		梁のせん断補強が理解できる		
		2週	せん断力に対する設計（2）		梁のせん断設計が理解できる		
		3週	せん断力に対する設計（3）		柱のせん断補強が理解できる		
		4週	せん断力に対する設計（4）		柱のせん断設計が理解できる		
		5週	柱梁接合部（1）		柱梁接合部に作用する力を理解できる		
		6週	柱梁接合部（2）		柱梁接合部柱の断面算定方法を理解できる		
		7週	振り返り演習		応用問題を解くことができる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	床スラブ（1）		床スラブの構造や作用する力を理解できる		
		10週	床スラブ（2）		床スラブの断面算定方法を理解できる		
		11週	耐震壁（1）		耐震壁の構造や作用する力を理解できる		
		12週	耐震壁（2）		耐震壁の断面算定方法を理解できる		
		13週	基礎（1）		基礎の構造や作用する力を理解できる		
		14週	基礎（2）		基礎の断面算定方法を理解できる		
		15週	振り返り演習		応用問題を解くことができる		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	許容せん断力を計算できる。		4	前1,前2
				せん断補強筋の算定ができる。		4	前1,前2
				終局剪断力について説明できる。		4	前1,前2
				許容せん断力を計算できる。		4	前3,前4

				せん断補強筋の算定ができる。	4	前3,前4	
				終局剪断力について説明できる。	4	前3,前4	
				基礎形式別の支持力算定方を説明できる。	4	前13,前14	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0